

園児たちが春のあいの沢へ遠足

愛の句碑やあいの浮き橋を楽しむ



▲新緑のあいの沢を満喫する園児たち

飯桶幼稚園の遠足は5月9日に行われ、園児たちが、新緑萌えるあいの沢を散歩したり施設を見学したりしました。

晴天に恵まれたこの日、園児たちは幼稚園をスクールバスで出発、あいの沢到着後は今年設置されたばかりの新しい愛の句碑や、あいの沢の施設を歩きながら見学しました。

園児たちは、愛の句碑といっしょに設置された石のアーチをくぐったり、野外体験学習館で鐘を鳴らしたり、水面にゆれるあいの浮き橋を渡ったりと、みどりが鮮やかになり始めた春のあいの沢を満喫、遠足を楽しんでいました。

今年、あいの沢では、7月12日に愛の句碑の作者らを招いて「愛の園遊会」が、また、8月9日には夏まつりが開催される予定になっています。

みんな
の
ひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。

身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613

草小の子供たちが
川の生き物調査
地域の川のこと、
もつと良く知ろう

5月8日、草野小学校4年生の子供たちが、村公民館南側を流れる新田川を訪れ、川の調査をしました。

これは、同小学校の総合的学習の時間を利用して行われたもので、地域を流れる川のことや川に住む生き物を調べることで、川のことをもつとよく知ろうとするのがねらい。

この日、子供たちは半ズボン姿で川に入り、どじょうやフナなどをアミで捕まえては歓声をあげていました。



草野幼稚園で交通教室

手を大きく上げて右、左、右



▲左右をよく見て手をあげて

草野幼稚園の交通教室は、5月7日に行われ、園児たちが綿津見神社前の横断歩道で正しい道路横断のしかたを学びました。

この日は原町警察署飯館駐在所の柴田巡査部長も交通教室に講師として参加し、園児たちの横断の指導を行いました。園児たちは二人ずつ横断歩道わきに並ぶと大きく手を上げて左右を確認し、実際に横断歩道をわたって安全な道路の横断のしかたを学んでいました。

飯館中1年生が農業実習

昔ながらの手作業で田植えを体験

ただ今
田植え中



5月27日、村民グラウンドそばの水田で、飯館中学校の1年生15人が、総合的学習の時間に稲作実習として手作業による田植えを行いました。今回、生徒たちが田植えを行った水田のしろかきや苗の調達等、田植え

の準備と指導を行ったのは、飯桶字大久保の赤石澤一彦さん。この日生徒たちは、作業が始まると運動着に長靴姿で田んぼに入り、早速田植えに挑戦。初めての田植えの感想を「思ってたよりも難しかった」と

話すとおり、生徒たちはぬかるむ足場に悪戦苦闘。しかし、先生や友達と協力しながら作業を進め、約10坪の面積の水田に無事田植えを終えました。

今後、生徒たちは除草などを行い、秋の収穫までこの水田を管理していくとのこと。

